

令和7年11月21日(金)

令和7年度 第4回

「横浜市地域公共交通会議運賃分科会」

次 第

議題

議題1

金沢区東朝比奈・六浦地区における小型バス（おでかけシャトル）の本格運行開始について

議題2

横浜市地域公共交通会議運賃分科会における軽微な事案の取扱い（案）について

令和7年度第4回「横浜市地域公共交通会議運賃分科会」委員名簿

職 名	氏 名
公募市民	小田部 明人
学識経験者 東京大学大学院 特任教授	中村 文彦
国土交通省 関東運輸局 神奈川運輸支局 首席運輸企画専門官	森下 文章
一般乗合旅客自動車運送事業者	京浜急行バス株式会社
(座長) 横浜市都市整備局交通政策部 地域交通推進担当部長	石井 高幸

令和7年度第4回「横浜市地域公共交通会議 運賃分科会」	
日 時	令和7年11月21日（金） 11時00分から11時30分まで
場 所	横浜市開港記念会館 1階1号室
開催形態	公開（傍聴：2名）
議 題	議題1_金沢区東朝比奈・六浦地区における小型バス（おでかけシャトル）の本格運行開始について 議題2_横浜市地域公共交通会議運賃分科会における軽微な事案の取扱い（案）について
議 事	（※本議事概要内では敬称略） 【議題1】金沢区東朝比奈・六浦地区における小型バス（おでかけシャトル）の本格運行開始について ■東京大学大学院 特任教授 ご意見 ・運賃設定について丁寧に説明いただき、よく理解できたが、市民利用者目線で考えると、周辺バス路線と当該路線の運賃差について理解されにくいと思う。どこまで地域にオープンに説明していくか教えてほしい。特に、路線バスで敬老パスを利用する際にはバス事業者の負担も生じていることを理解されていないかもしれない。 ◇事業者（京浜急行バス株式会社） 回答 ・敬老パス利用の事業者負担や、利用者が増えれば値下げも検討したいということなどは地域との対話の中で話をしている。できるだけオープンに説明していきたいと考えている。 ■東京大学大学院 特任教授 ご意見 ・なかなか地域とのコミュニケーションがうまく取れず、不信感が生じている場合も他の事例ではある。しかし、そのように真摯に地元と対話していければ、お互いにどうやって地域交通を支えていこうかという議論もできるので、共有して理解してもらいながら進めてもらえればと思う。 ■公募市民 ご意見 ・場合によっては値下げもあり得るとのことだが、利用者を増やすためにどのように取り組んでいくのか教えてほしい。 ◇事務局 回答 ・利用促進は市の制度のメニューにあるため地域と一緒に取り組んでいきたい。実証運行時もチラシやポスターの作成をしており、また地域も商店街との連携を検討しているため、市としてもバックアップしていきたい。 【議題2】横浜市地域公共交通会議運賃分科会における軽微な事案の取扱い（案）について ■国土交通省 関東運輸局 神奈川運輸支局 首席運輸企画専門官 ご意見 ・現時点でこれらの事案に該当する地区で運行している事業者からどのような意見があっ

たか教えてほしい。

◇事務局 回答

- ・現時点でこれらの事案に該当する地区はないため、事業者から意見はいただいていない。

◇座長 発言

- ・その他、特にご意見などないので、今後は案のとおり取り扱うこととしたい。